

青森山田4年ぶりV 光星が3位 東北大会切符

青森県 春季高校野球

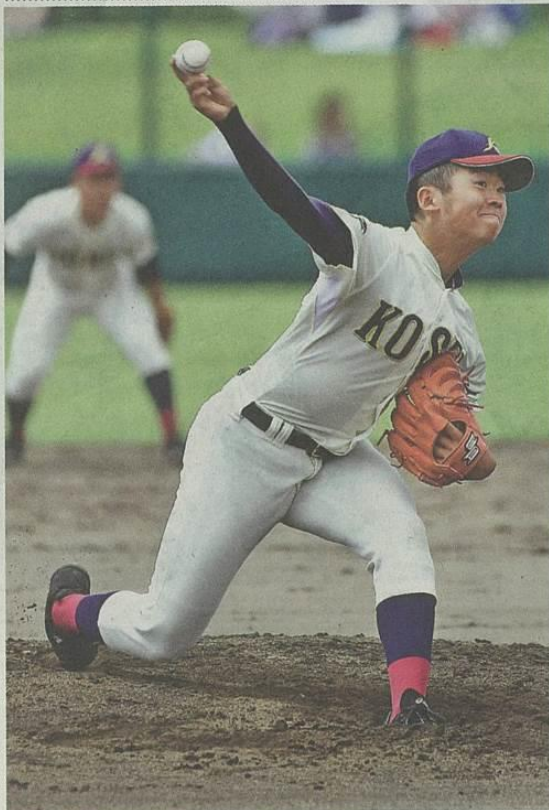
最終日

春季青森県高校野球選手権最終日は28日、六戸町メイプルスタジアムで3位決定戦と決勝を行った。決勝は、青森山田が弘学聖愛を3-2で下し、4年ぶり10回目の優勝を果たした。3位決定戦では、八学光星が工大一を10-2で下し、ゴールド勝ちした。

東北大会(6月8~12日・宮城県)には、弘学聖愛、青森山田、八学光星の3校が出場する。組み合わせ抽選は1日、仙台市で実施する。

(金濱千優希、中山瑞希)

きのこの試合
▽3位決定戦
八学光星10-2工大一
(7回コールド)
▽決勝
青森山田3-2弘学聖愛



【3位決定戦・工大一—八学光星】工大一打線を4安打に抑え、完投した福山優希=六戸メイプル

光星執念 3回猛攻

3位決定戦

工大一0000110
八学光星1005022X
(7回コールド) 10-2
(工)田中、和田、大坂
長内、工藤

▽三塁打 近藤(八)▽二塁打 花房、小池、福山(八)▽暴投 福山(八)

▽試合時間 1時間56分
(球審)工藤学、塁審)高坂、澤田、後藤

【評】光星は初回、小淵の右翼線への適時打で先制した。三回には、2死走者なしから打者7人が安打や死球

などで連続出塁し、二塁を勝たせる投球だったとエースの力投を評価した。立ち直った投手を援護しようとして、打線も奮起。三回は、2死から安打と四球で5得点。「チームで話し合った通りの打撃ができなかった(吉田主将)」という前日から軌道修正し、投手によって狙い球を絞る、高めは振らないといった決め事を徹底した結果が表れた。

福山力投に打線奮起

工大一との「八戸対決」を制し、東北大会3校目の切符をつかんだ光星。準決勝の聖愛戦から一夜明けての決戦だったが、ナインは

先発は、青森県1を付けて打者を次々と打ち取った。四死球や暴投でピンチを招き、相手に2点を献上したが、仲井宗基監督は

「勝負どころで普段の実力を出せるかどうかはハートの問題」と仲井監督。三回の猛攻を「当たりは良かったと思うが、勝利への気持ちでつなげたのだから」と笑顔で振り返り、ナインに及第点を与えた。

(金濱千優希)